

中部大会速報

4 岐阜県 県立中津商業 高校

発行

第68回中部日本高等学校演劇大会生徒実行委員会 広報

2015年

12月24日

作品名

とりあえずやってみよっか

創作 Original

アドリブで紡ぐ演劇愛

普段の部活をそのまま劇に

脚本について

テーマ・伝えたいことは「演劇は楽しいよ」

どこからアイデアが

ひらめいたか

アイデアが最初浮かばなかったのが普段の部活ではないかと思った。

脚本は、部長さんが書いた後、先生が手直した。

演出について

工夫は、エチュードとエチュードじゃないところの境目をできる限りなくす事。大変だった事は、エチュードなので話がかみ合わないところがあったり、

止まったりするところを、練習でなんとかしていた事。

役者について

役作りは、特に目立った点はなく、普段通りにやった。

舞台装置について

苦労したところは、こだわったところは、絵本にあるみたいな絵を描くのを頑張った。

使い勝手がいいように工夫した。また、製作期間は一ヶ月弱だ。

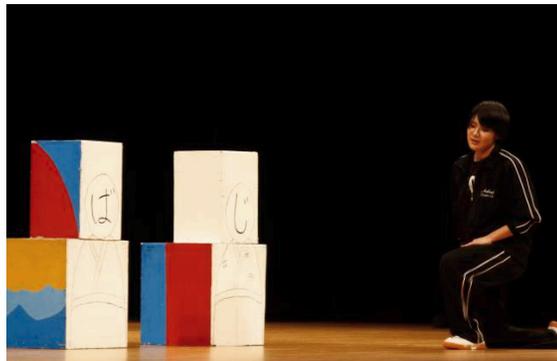
ここだけの話

練習中、大きなハプニン

グがあり、部員皆がついていけなくなった。三人が出てくるアドリブのシーンで、じゃんけんで事前に決めていたが、何をやるか話が進まなかった。

最後の一言

今回の劇で60分間緊張し、自分たちにとっての良い刺激になり良かった。



おじいさんとおばあさんにわかれを告げるシーン

編集後記

アドリブが間にあるとは思えないほど、テンポが良く最初から最後まで観客を沸かせていた。演劇の楽しさが、凝縮されているような劇だった。アドリブが主体の劇というのが斬新で、自分達のところでも取り入れたいと思った人も多いのではないだろうか。



腕相撲をする金太郎と桃太郎。

また、ホタル箱の面に異なる絵が描いてあり小道具がホタル箱しかないのにとっても舞台が華やかになっていった。



(担当) 西谷、堀田、北野、長沢